

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

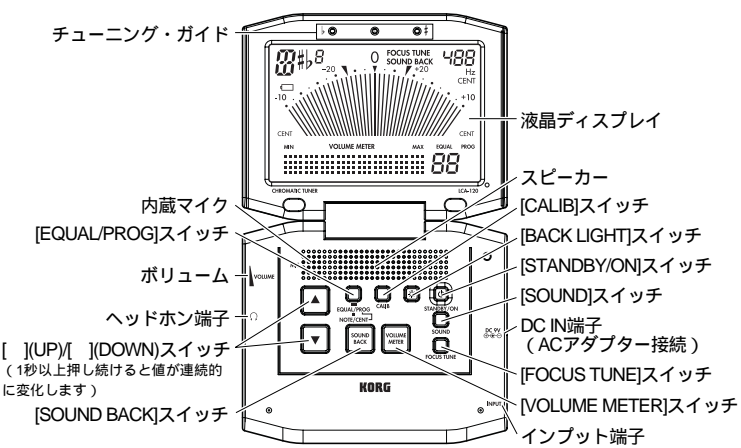
ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

	火災・感電・人身障害の危険を防止するには
⚠	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
🚫	⊘記号は、禁止しては「いけないこと」を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「分解禁止」を表しています。
🔌	●記号は、強制「必ず行うこと」を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。
	以下の指示を守ってください

- ⚠ **警告** この注意事項を無視した取り扱いをすと、死亡や重傷を負う可能性が予想されます
- 🔌 ACアダプターのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- 🔌 ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショートの恐れがあります。
- 🔌 本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。
- 🔌 次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターのプラグをコンセントから抜く。ACアダプターが破損したとき異物が内部に入ったとき製品に異常や故障が生じたとき
- 🔧 修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。
- 🔧 本製品を分解したり改造したりしない。
- 🔧 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。
- 🔌 ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものをのせない。
- 🔌 コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 🔌 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。
- 👂 万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 🗑 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- 🌡 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
- 👂 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- 👂 ホコリの多い場所で使用や保管はしない。
- 👂 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。
- 🌧 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
- 👂 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- 👂 本製品に液体をこぼさない。
- 👂 濡れた手で本製品を使用しない。

- ⚠ **注意** この注意事項を無視した取り扱いをすと、傷害を負う可能性、または物理的損害が発生する可能性があります
- 🔌 ・正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- 📺 ・ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 👂 ・外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- 🔌 ・ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。
- 🔌 ・長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
- 🔌 ・電池は幼児の手の届かないところへ保管する。
- 🔌 ・長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。
- 🔌 ・指定のACアダプター以外は使用しない。
- 🔌 ・他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- 🔌 ・スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。故障の原因になります。
- 👂 ・外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- 👂 ・不安定な場所に置かない。本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- 👂 ・本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。本製品が損傷したり、お客様がけがをする原因となります。

各部の名称



このたびは、コルグ・クロマチック・チューナーLCA-120をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用下さい。また、取扱説明書は大切に保管してください。

電源の入れ方

電源をオンにする

LCA-120を開いて[STANDBY/ON]スイッチを押し、電源をオンにします。

電源をオフにする

[STANDBY/ON]スイッチを押し、電源をオフにします。

LCA-120を閉じると自動的に電源がオフになります。また、電池使用時に電源オンのまま入力音がない状態で約20分間経過すると、自動的に電源がオフになります。

電源オフ時は、以下の設定が記憶されます。

電源オフ時に記憶される設定	選択範囲	工場出荷時の設定
キャリブレーション	410...480 Hz	440 Hz
フォーカスチューン・モード	ON/OFF	OFF
サウンドバック・モード	ON/OFF	OFF
音律	EQUAL/PROG	EQUAL(平均律)
音律プログラムのセント値	- 50...0... + 50	すべて0
基準発振音	A0...C8	A4
音量計測表示	ON/OFF	ON

チューニングの方法

LCA-120では、メーター・モード、フォーカスチューン・モード、サウンドアウト・モード、サウンドバック・モードの4つのチューニング・モードがあります。

INPUT端子に接続してチューニングする場合

市販ケーブルのプラグを楽器などに接続し、もう一方のプラグをLCA-120のインプット端子に接続します。また、別売りのコルグ・コンタクト・マイクCM-100Lを使用して楽器をチューニングするときには、LCA-120のインプット端子にCM-100Lのプラグを接続します。

- 🔌 インプット端子にプラグが接続されているときは、内蔵マイクは使用できません。
- 🔌 インプット端子はモノラル専用です。ステレオ・プラグは使用できません。

内蔵マイクを使ってチューニングする場合

インプット端子にプラグを接続せずに、楽器に内蔵マイクをできるだけ近づけます。

- 🔌 内蔵マイクを使ってチューニングする場合は、余計な音がマイクに入らないようにしてください。

ヘッドホンを使う場合(サウンドアウト・モード、サウンドバック・モード)

市販のミニプラグ(3.5mm)のヘッドホンを、ヘッドホン端子に接続します。このとき、スピーカーからは音が出ません。ヘッドホンの音量はボリュームで調整します。

メーター・モード

メーターを見ながらチューニングするモードです。

- 楽器を単音で鳴らします。入力音が一番近い音名が液晶ディスプレイの左に表示されます。合わせたい音名が表示されるように楽器をおおまかにチューニングします。

- メーターが0位置(中央)を指し、チューニング・ガイドの中央のランプが点灯するようにチューニングします。

チューニング・ガイドは音が低いときは左、高いときは右のランプが点灯します。ある音に対して、純正の長3度上にチューニングするときはメーターを ↖(- 13.7セント)に合わせます。純正の短3度上にチューニングするときはメーターを ↗(+ 15.6セント)に合わせます。【例1】A(0セント)の音に対して、純正の長3度上の音にする場合
音名表示をC#にして、メーターを ↖(- 13.7セント)に合わせます。

【例2】A(0セント)の音に対して、純正の短3度上の音にする場合
音名表示をCにして、メーターを ↗(+ 15.6セント)に合わせます。

フォーカスチューン・モード

メーターを±10セントの範囲で表示し、より精度の高いチューニングをするモードです。

- [FOCUS TUNE]スイッチを押ししてフォーカスチューン・モードに入ります。
- 楽器を単音で鳴らします。入力音が一番近い音名が液晶ディスプレイに表示されます。入力した音が0位置(中央)より±10セント以内になったとき表示が切り替わり、±10セントの範囲が表示されます。また、±10セントを外れると元の表示(±50セントの範囲)に戻ります。
- 楽器を単音で鳴らして、メーターが0位置(中央)を指し、チューニング・ガイドの中央のランプが点灯するようにチューニングします。チューニング・ガイドは音が低いときは左、高いときは右のランプが点灯します。
- フォーカスチューン・モードを終了するときは、[FOCUS TUNE]スイッチを押しします。

サウンドアウト・モード

LCA-120のスピーカーから出力される基準発振音に合わせてチューニングするモードです。

- [SOUND]スイッチを押ししてサウンドアウト・モードに入ります。
- []または[]スイッチを押しして、合わせたい音名を選びます。音名 [平均律:C2...C6、音律プログラム:A0...C8]
- LCA-120が出力する基準発振音に合わせて、楽器をチューニングします。🔌 C2～C6以外の音名を選んだ場合、その音名に近い出力可能範囲の基準発振音が出力されます。
- サウンドアウト・モードを終了するときは、[SOUND]スイッチを押しします。

サウンドバック・モード

LCA-120が出力する基準発振音とメーターの表示でチューニングするモードです。インプット端子から入力した音が一番近い基準発振音をスピーカーから出力し、入力音との誤差をメーターで表示します。

- 🔌 本機の内蔵マイクからの入力音については、サウンドバック・モードは機能しません。

- [SOUND BACK]スイッチを押ししてサウンドバック・モードに入ります。
- 楽器を単音で鳴らします。入力した音が一番近い基準発振音を出力し、その音名を液晶ディスプレイに表示します。メーターは、基準音と入力音との誤差が - 50CENT ~ + 50CENTの範囲を指示します。あわせたい音名と基準発振音が出力されるように、楽器音のピッチをおおまかにチューニングしてください。🔌 C2～C6以外の音を入力した場合、その入力音に近い出力可能範囲の基準発振音が出力されます。
- 基準発振音とメーターをもとに楽器をチューニングします。
- サウンドバック・モードを終了するときは、[SOUND BACK]スイッチを押しします。

キャリブレーション(基準ピッチ)を変更する

[CALIB]スイッチを押ししてから、[]または[]スイッチを押しします。キャリブレーションの値が1Hz単位で増減します。キャリブレーション [410...480Hz]

音律プログラム機能

LCA-120では平均律のほかに、好みの音律を記憶させチューニングすることができます。民族楽器や古典楽器などのチューニングに便利です。A0～C8までの88音の1音ごとに設定が可能です。設定したセント値はすべてのチューニング・モードで有効になります。

- [EQUAL/PROG]スイッチを長押しして、音律を「プログラム」に切り替えます。液晶ディスプレイに「PROG」と表示され、音名が点滅します。
- []または[]スイッチを押しして、変更する音名を選択します。
- [EQUAL/PROG]スイッチを押すと、セント値が点滅します。[]または[]スイッチを押しして、平均律を基準としたセント値を設定します。
- 音名とセント値の設定を続けるには、[EQUAL/PROG]スイッチを押しして、手順2と3を繰り返します。
- [CALIB]スイッチを押すと、設定した音律でチューニングできる状態になります。
- [EQUAL/PROG]スイッチを再度長押しすると、音律が「平均律」に戻ります。「PROG」表示が消え、「EQUAL」表示に切り替わります。

音量計測表示

内蔵マイク、またはインプット端子から入力された楽器音の音量を、メーターと数値で液晶ディスプレイに表示します。音量を一定に保って演奏したり、音量を徐々に上げたり下げたりする練習等に便利です。また、音量計測モードはチューナーと同時に使用することができます。

- 🔌 入力レベルによっては測定表示が不安定になることがあります。
- 🔌 内蔵マイク入力時は、マイクからの距離により表示されるレベルが変わることがあります。
- 🔌 本モードにて表示される音量や数値は、特別な精度を保証するものではありません。目安としてお使いください。

- [VOLUME METER]スイッチを押しして、音量計測モードに入ります。
- 楽器を鳴らして持続音を入力し、液晶ディスプレイに表示されている音量の変化を確認します。

バックライト

[BACK LIGHT]スイッチを押すと、液晶ディスプレイのバックライトが点灯します。

入力音が約2分間なかったときは、自動的にバックライトは消灯します。

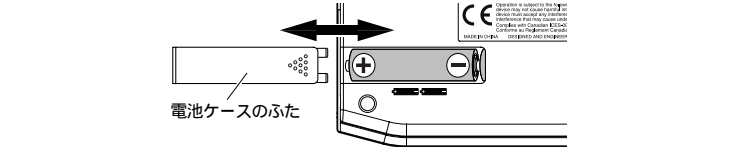
バックライトの自動点灯

[BACK LIGHT]スイッチを1秒以上押し続けると、メーター・モード、フォーカスチューン・モード時に入力音によってメーターが動作した場合、バックライトが自動で点灯します。自動点灯の設定時に入力音が約2分間ない場合も、バックライトは自動的に消灯します。バックライトの自動点灯を終了するときは、もう一度[BACK LIGHT]スイッチを1秒以上押し続けます。🔌 バックライトの自動点灯の設定は、電源オフ時に記憶されません。

電池の交換

- 🔌 電池の交換は電源スイッチをオフに行ってください。
- 🔌 付属の電池は動作確認用ですので、寿命の短い場合があります。

- 裏面の電池ケースのふたを矢印方向にずらしてから、引き上げて開けます。
- 単4電池を2本入れます。電池の極性(+、-)を間違えないように注意してください。



- 電池ケースのふたを閉めます。

電池の残量が少なくなると、液晶ディスプレイ左上に電池マークが点灯します。お早めに新しい電池と交換してください。

工場出荷時の状態に戻す方法

LCA-120のすべての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

- []スイッチを押しながら[STANDBY/ON]スイッチを押しします。記憶している設定がすべて工場出荷時の設定に戻ります。

仕様

音律: 12平均律、プログラム(88音)
測定範囲: A0(27.50 Hz)～C8(4186.01 Hz)サイン波入力時
基準発振音: C2(65.41 Hz)～C6(1046.50 Hz)
チューニング・モード: メーター・モード(オート)フォーカスチューン・モード(オート)サウンドアウト・モード(マニュアル)サウンドバック・モード(オート)

キャリブレーション範囲: A4=410～480 Hz(1 Hz単位)
測定精度: ±1.0セント以内
サウンド精度: ±1.5セント以内
接続端子: インプット端子(6.3モノラル標準ジャック)ヘッドホン端子(3.5ミニジャック)DC IN(9V)

スピーカー: ダイナミック・スピーカー(16 mm × 35 mm)
電源: 単4アルカリ電池(LR03) × 2本(3V)ACアダプター(9V)
電池寿命: 約60時間(アルカリ電池、メーター・モード、A4連続入力、バックライト・オフ時)

外形寸法(W)×(D)×(H) 101 mm × 84 mm × 22 mm(折りたたみ状態時)
重量: 148 g(電池含む)
付属品: 取扱説明書、動作確認用単4電池 × 2本、ソフトケース
オプション(別売): ACアダプター(KA181: ⊕⊖⊕)

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。液晶ディスプレイに強い圧力や衝撃を加えたりしないでください。また、ひねったり、曲げたり、ボールペンなど尖ったもので突いたりしないでください。不適当な取扱い方をした場合、液晶ディスプレイが破損することがあります。

保証規定(必ずお読みください)

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類(ヘッドホンなど)は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

- 本保証書の有効期間はご購入上げ日より1ケ年です。
- 次の修理等は保証期間内であっても有料修理となります。
 - 消耗部品(電池、スピーカー、真空管、フェーダーなど)の交換。
 - お取扱い方法が不適当のために生じた故障。
 - 天災(火災、洪水等)によって生じた故障。
 - 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
 - 不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
 - 保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
 - 本保証書の提示がない場合。
- 尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理いたします。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、サービス・センターまでお問い合わせください。
- 修理、運送費用が製品の価格より高くなることがありますので、あらかじめサービス・センターへご相談ください。発送にかかる費用は、お客様の負担とさせていただきます。
- 修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても一切行っておりません。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損傷につきましては、弊社はいっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。本保証書は、保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お願い

- 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
- 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

アフターサービス

お客様相談窓口	TEL 03(3799)9086
---------	------------------

サービス・センター:〒143-0001 東京都大田区東海5-4-1
明正大井5号営業所 コルグ物流センター内 TEL 03(3799)9085

<p>コルグ LCA-120</p> <p>本保証書は、上記の保証規定により無料修理をお約束するものです。</p> <p>お買い上げ日 年 月 日</p> <p>販売店名</p>	<p>保証書</p>
---	-------------------